



同風 あらかると

第33号 平成25年10月1日発行
発行元 茶道裏千家淡交会青年部
近畿第一ブロック
発行人 ブロック長 竹内裕貴

ご挨拶

茶道裏千家淡交会青年部
近畿第一
ブロック長 竹内 裕貴

青年部の新体制がスタートして半年が過ぎました。近畿第一ブロック内のそれぞれの青年部の皆さんも、新部長のもと、昨年までとは少し違う青年部ライフを楽しまれていることでしょう。近畿第一ブロックも、青年部にとっての新しいブロックの存在を目指して動き出しています。連絡協議会として、全国およびブロック内の情報の流通はもとより、運営に関するさまざまなネタ情報を発信できるような機会を設けて参ります。秋には会員研修を開催していただきます。ブロックの場がさらなる修練と友情の場になりますように、皆さんの参加協力をお願い申し上げます。

2013年度

近畿第一ブロックスローガン

「温・故・創・新」

～新次代の青年部活動を始めよう～

但馬青年部



「但馬は、兵庫県日本海側に位置し、東西・南北にそれぞれ約60kmにわたっています。青年部行事には遠方の方も朝早くから参加されます。会員は、現在50名となりましたが、新青年部立ち上げ後の4月には、青年部50周年行事を開催し、会員一丸となって、親先生、OBの方にもご指導をいただきながら、お家元をはじめとする大勢のお客様をお迎えすることが出来ました。その後も、如水会添釜、茶事研修を行い、お稽古とはまた違った体験が出来ました。この夏には“子ども茶道体験”も2回開催予定です。今後も、無理なく充実した青年部活動を目指したいと思っています。

京都北青年部



私達京都北青年部は、4つの個性ある青年部（葵・北山・紫野・洛北）が一つとなり、太田部長を筆頭に現在90名で日々頑張っております。各委員長を中心に例会が行われ、そこで出た案を月1回の三役・委員長会議でとりまとめております。本年度は北青年部内での親睦を深めるため、お菓子作り教室や作陶教室、浴衣茶会&納涼、BBQで呈茶など楽しい企画を委員会ごとに考え開催しております。12月には先生方やOB、他青年部の方をお招きしお茶会予定しております。

京都西青年部

今年度、西青年部は、多くの新入会員を迎え、5月末には124名となりました。役員を除く全会員は、普及、教養、育成、総務、広報の5つある委員会に所属。



2月総会に始まり、4月講師例会、6月新樹茶会、7月七夕茶会、9月茶杓作りとBBQ、11月秋のお茶会と、それぞれの行事を各委員会が運営する事により、誰もが意見を述べる機会をつくり、気軽に参加でき、ワクワク出来る会を目指しています。

宮津青年部



宮津青年部は、京都の北部にあり、海と山の自然豊かな所にある約20人の小さな青年部です。今年度のテーマを「私からお茶を楽しみ、私から一碗を」とし、一人一人ができることから活動やお茶を楽しんでいます。活動としては、毎年、親先生や学茶と一緒に茶会を持たせていただいています。また、昨年は、5年ぶりに、青年部だけでPR茶会を行い、広く青年部活動を知っていただきました。今年度は、茶花散策を行い自然豊かなロケーションを生かしてお茶を楽しんでいます。自然の中でのお茶一服は格別でした。私たち宮津青年部は少ない人数と豊かな自然をメリットに和気藹々と活動を楽しんでいます。

両丹青年部

私たち両丹青年部は京都府北部の綾部市、福知山市、舞鶴市を中心に活動しています。元は「丹の国青年部」と「舞鶴青年部」で活動していましたが、今年度から合併し、両丹青年部として今年から新しいスタートを切りました。



5月には合併後初めての「新緑の茶会」を開催いたしました。不慣れなことが多々ありましたが、お客様には大変好評をいただき、ひと安心すると同時に会員のチームワークにも大きな前進が見えました。これからの活動も協力し合って楽しく学んでいきたいと思っています。

滋賀青年部

滋賀青年部は、143名の会員数で滋賀県全域が活動範囲となります。活動のモットーは、「お社中で真面目にお茶に取り組む青年の視点に立って」。これを具現化するため、「学び」や「体験」を中心に活動しており、お茶会や学習会、ものづくり体験などを行っています。



また、大学などでお茶を学ぶ学生さんとの連携も重視し、「ふれあい茶道サロン」と名付けて、青年部の活動を広く一般の方にも開放する取り組みも進めています。

京都東青年部



京都東青年部は、洛東青年部と東山をはじめ現在の会員数は62名です。他の青年部と比べると人数が少ないのですが、比較的年齢層も若く、いつでも和気藹々とした青年部です。年間行事には、京都四支部連合会行事の他に、老人ホーム呈茶、親先生との茶会、研修会などを企画しており、多くの会員のみなさんに参加いただき、青年部に入ってよかったと感じてもらえるような活動を目指しています。

奈良青年部



奈良青年部です！昨年までは8つの青年部で活動していました。といってもその頃からみんなで協力しあって行事を運営してきたので結束力ではどの青年部にも負けないという自信があります。また音声館の活動と薫風茶会の展示で過去2回全国表彰を受けていることも自慢です。これからは221人の大所帯ですが一致団結してがんばります！来年2月には奈良で大茶会もごさいます。今後の奈良に、乞うご期待！

京都南青年部



今年度より洛南・山城青年部が合併し、京都南青年部となりました。そして新たに37名の新入部員を迎え、合計97名の部員で活動しています。『共に学び、共に楽しもう！』というテーマの元に、お茶会や研修会などを行い、時に真剣に、時に和気あいあいと、茶道を通じて部員同士、そして社会との交流を深めています。現在は、今秋10月に予定している清水寺での京都南青年部として初のお茶会に向けて、部員一丸となって準備を進めています。

裏千家淡交会青年部近畿第一ブロックは今年度から新たなスタートをしました！
各青年部を紹介します。

お茶会の情報や行事などはフェイスブックで発信しています！



茶道裏千家淡交会青年部近畿第一ブロック

裏千家学生茶道研究会との

合同茶会 茶彩

◆日時 平成25年6月9日(日)
 ◆場所 高台寺 方丈 湖月庵
 本席 裏千家学生茶道研究会
 副席 淡交会青年部近畿第一ブ
 ロック

晴天のもと、いつもは別々に活動している各大学と青年部がひとつのお茶会を開催いたしました。お茶や水屋での交流を通じ、各々が気づき、勉強し、楽しむ、充実したひとときとなりました。



梅雨の時期にもかかわらず、福井正興担当副ブロック長が超晴れ男だったのか？爽やかな薫風が吹く最高のお天気に恵まれました。今回はいろんなことをさせて頂きました。縁高の取扱の解説に顔を出し、点前は二席、半東さんの出るタイミングや水屋からお茶を出すタイミングなどを見計らう第二半東、そして運びなどさせて頂きました。お濃茶を召し上げるのも初めての方がおられますので、菓子の取り回しに悪戦苦闘され、上からまわってきた縁高をついつい上に重ねがちです。はじめのお濃茶で、その濃厚なお茶の味に戸惑われた方もおられました。次年度は今年の実践を踏まえ、より良い学生さん達との親睦茶会に出来ればと思っております。

(奈良青年部 菊岡洋之)

私たち京都外国語大学は、今回の合同茶会で運びを担当させて頂きました。今回のお茶会の席を持たせて頂くために、様々な大学と協力し、席札を作ったり、会場の設営などをしたり、準備を進めてきました。お茶会当日は、主に運びの仕事を担当しました。お茶碗は学生の手作りのもので、京都清水の嘉祥窯を使わせて頂きました。様々な形のお茶碗があり、お客様にも楽しんで頂くことができました。普段とは違った雰囲気の中で行われたお茶会であったため、お客様の人数も多く、緊張しました。このような席の中で運びをさせて頂き、私たちにとって大変良い経験となりました。この経験を生かし、また日々の稽古に励んでいきたいと思っております。

(運び担当 藤田晶子、松本みなみ、前田敏子)



今年も裏研の学生さんたちとの茶会を開催することができました。開催日や会場を決定するのもひと苦労でしたが、担当の皆さんの努力で楽しい茶会になりました。特に学生さんたちには事前の打ち合わせ、会場下見などご苦労いただいたと思います。当日もほんまに爽やかな交流ができたと思います。濃茶席にて半東を務めさせて頂きましたが、ひざが曲がらないのでイスを利用することになり、大変見苦しいことで失礼しました。それでも和やかに皆さん過ごしていただき感謝しております。今後も裏研の皆様とは機会あるごとに交流したいですし、青年部の楽しさもお伝えしていきたいと思っております。感謝感謝おおきにです。

(ブロック長 竹内裕貴)

近畿第一ブロック。青年部へ入会后、何度となく耳にしていますが、自分とは無縁のものだと思っていました。それが今年度、出向になりブロック行事に初参加させて頂きました。濃茶席で、縁高にたくさんの黒文字をのせてのお運びがドキドキでした。「茶彩」の趣向の如く、キラキラした学生の皆さんの姿に心が洗われました。社中のお茶があり、青年部、ブロック、学生といろいろな方々とお茶で共にさせて頂き学び多き茶会となりました。参加させて頂きましたことに感謝申し上げます。

(京都南青年部 乾恵理)



合同茶会では半東を務めたのですが、今までに経験のしたことのない緊張をおぼえ、平静をよそおうのに必死でした。一席目、二席目と終わり、自分の番が近づき水屋に入ると、そこには汗を流しながら頑張る仲間の姿がありました。その光景を見た瞬間、おどおどしている場合ではないと身も心も引き締まりました。お茶席が始まり、お客様全員の表情を見渡すとどの方も穏やかで暖かな視線を向けてくださっていました。また、お正客様をはじめ、皆様がお茶碗など様々なものに関心を持ってくださりとても嬉しかったです。今回、半東の仕事はできたのかもしれませんがお客様を楽しませるという部分においては不十分でした。知識と経験を積み重ね、豊かな人となれるよう日々努力していきたいと思っております。

(同志社女子大学 松下真実)

経験豊富な皆様に支えていただき、合同茶会を開催することができました。関わっていただきました全ての皆様に心から御礼申し上げます。今回の経験を通し学んだことを次回の開催に活かせるよう、皆様からさらに多くのアドバイスをいただき、若さ溢れる学生との合同だからこそできる楽しくワクワクするような茶会実現に向け頑張ります。今後ともよろしくお願いたします。ありがとうございました。

(副ブロック長 福井 正興)



今回このような大きなところで半東をさせて頂くということで何週間も前からお稽古の場でも自宅でも猛練習を重ねました。どうしたら京都外国語大学らしい私らしい半東ができるのか、どんな些細な草草、言葉でも自分が気になったところや指摘されたところは改善を繰り返し、お道具やお菓子にお茶、お茶碗は勿論のこと、合同茶会についてその目的、裏研について、何が聞かれても速やかに答えられるように、青年部さんや他大学の方々と皆さんで作りに上げていく合同茶会というこの貴重な1日に来て下さったお客様が笑顔で帰って頂けるような素敵な日にしたいという思いで取り組みました。当日は、あまり話してしまっていたら覚えたことが全て出てしまいそうな気がして、その上、うまくやろう、うまくやろうと思すぎて、自然と口数も少なく、おまけに顔も強ばっていたようで周りの方から「笑顔、笑顔！大丈夫！みんな付いてるよ」と言われました。その一言でふっと肩の荷がおり、本番は多少の緊張はありましたが自分でも驚くくらいリラックスした気持ちで乗り越えることが出来ました。拝見にみえたお客様が笑顔で「ありがとうございました」と深々と頭を下げて下さった時、頑張ってたかったと心から嬉しく思いました。この合同茶会に半東として出させて頂いたことは私の一生の思い出となり、また忘れられない1日となりました。

(半東担当 松谷恵里奈)



青年部に入会しやすくなります！

〈お問い合わせ先〉

茶道裏千家淡交会青年部 近畿第一ブ

ック

TEL 090-1964-9694 (長谷川方)

FAX 075-602-1590

ホームページ: <http://www.chakai.com/>

E-mail: tankokai_kinkil@yahoo.co.jp

